

令和4年度 経営改革プラン

団体名	公益財団法人こうべ市民福祉振興協会
-----	-------------------

設立年月日	昭和56年6月1日	
団体の設立目的・沿革	「神戸市民の福祉をまもる条例」の理念を遵守し、市民、事業者及び神戸市がそれぞれ有する人材、資力、その他の福祉資源を総合的に活用することによって、市民福祉を振興するための事業を創造かつ推進し、もって市民の福祉の向上に寄与することを目的とする。	
団体の主な事業内容	事業名	所管課
	市民の福祉意識の啓発を図る事業	福祉局政策課
	市民の福祉活動の振興	自主事業
	こうべ医療者応援ファンドの運営	福祉局政策課、健康局地域医療課
	総合福祉ゾーン「しあわせの村」の運営	福祉局政策課、建設局公園部管理課
	平磯児童館の運営	こども家庭局こども青少年課
	介護保険制度の公正・公平な運営を確保するための事業	福祉局介護保険課
	しあわせの村内便益施設の運営	自主事業
	保養センター太山寺・ラジウム温泉太山寺の運営	自主事業
代表者	会長 三木 孝	

役職員数 (令和3年7月1日時点)	評議員、理事		監事		職員		合計
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	有期	無期	
団体固有職員	-	-	-	-		28	28
市派遣職員	1	1	-	-		8	10
市OB職員	2	2	-	-	5		9
その他	-	16	-	2	88	38	144
合計	3	19	-	2	93	74	191

財務状況(単位:百万円)	令和2年度	令和元年度	差引
経常損益	30	69	△ 39
当期正味財産増減額	228	68	160
流動資産	680	726	△ 46
流動負債	264	311	△ 47
長期借入金(固定負債)	1,333	1,438	△ 105
期末現金預金残高	444	589	△ 145

■ 中長期的なミッション（神戸市行財政改革方針2025期間中のミッション）

ミッション①	市民福祉を振興するための事業を実施し、市民の福祉向上に寄与する
ミッション②	様々な人材、団体、福祉資源を活用し、福祉の新たな価値を創造する
ミッション③	市民福祉を推進するための人材を育成・確保する

■ 短期的なミッション（令和4年度のミッション）

ミッション①	協会事業の実施と事業の効率化・廃止を含む見直し
ミッション②	新たな福祉課題への取組み
ミッション③	人材、団体との連携の推進
ミッション④	組織人材の育成のためのキャリア制度の充実

■ 経営指標（令和2年度）

経営指標				令和元年度	令和2年度	前年度比増減
人的パフォーマンス	職員一人あたり純利益	純利益/職員数	職員1名あたりが、どの程度の利益を上げているか。(百万円)	1.745	5.304	3.6ポイント
	経常費用人件費比率	人件費/経常費用×100%	経常費用に占める人件費の割合がどの程度あるか。	21.64%	14.79%	-6.8ポイント
財政的パフォーマンス	総資本経常利益率	経常利益/総資本×100%	経常的な収益性はどの程度見込まれるか。	2.62%	1.11%	-1.5ポイント
	流動資産回転率	売上高/流動資産×100%	流動的な資金が効率的に運用されているか。	188.21%	231.53%	43.3ポイント
財政安定性	流動比率	流動資産/流動負債×100%	短期的な資金をどの程度確保できているか。	233.26%	257.09%	23.8ポイント
	自己資本比率	自己資本/総資本×100%	団体固有の資本がどの程度あるか。	26.07%	33.90%	7.8ポイント
持続性	自己資本当期純利益率(ROE)	当期純利益/純資産×100%	資本を効率的に運用しているかか。	9.97%	25.05%	15.1ポイント
	純資産増加率	(当期純資産-前期純資産) / 当期純資産×100%	純資産が持続的に増加しているか。	9.97%	25.05%	15.1ポイント

## ■ ミッション工程表

ミッション名	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度～
中長期的ミッション	長期ミッションの基本コンセプトとして、村の活性化・イノベーションを起こす			
①市民福祉を振興するための事業を実施し、市民の福祉向上に寄与する	YMCAと連携した子育て支援事業の拡充 発達の良い気になる子の支援事業の充実 特別支援学校生の就労体験(2校)	YMCAと連携した子育て支援事業の拡充 発達の良い気になる子の支援事業の充実 特別支援学校生の就労体験(3校)	YMCAと連携した子育て支援事業の拡充 発達の良い気になる子の支援事業の充実 特別支援学校生の就労体験(4校)	YMCAと連携した子育て支援事業の拡充 発達の良い気になる子の支援事業の充実 特別支援学校生の就労体験(5校)
②様々な人材、団体、福祉資源を活用し、福祉の新たな価値を創造する(10事業以上)	4事業実施 (ユニバーサルカレッジ、健康倶楽部、大学との連携、障がい者スポーツ事業)	新たに3事業実施	新たに2事業実施	新たに1事業実施
③市民福祉を推進するための人材を育成・確保する	関係部署との調整 市役所部局での職場体験	関係部署との調整 市役所部局での職場体験	関係部署との調整 市役所部局での職場体験	関係部署との調整 市役所部局での職場体験

ミッション名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
短期的ミッション												
①協会事業の実施と事業の効率化・廃止を含む見直し												
中期経営計画の策定(R5～7年度)	ワーキングチームによる策定作業					経営会議	理事会					
②新たな福祉課題への取組み(3事業以上)												
しあわせの村ラボ	ラボ設置に向けた検討・調整(構成、運営方法等)→各種実証実験(モバイルトイレ等)の実施や事業の試行的実施											
障がい者・高齢者の村内での移動支援の構築	ニーズ調査・支援方法の検討、県立福祉のまちづくり研究所や神戸学院大学との調整				広報	実施						
村の活性化・DXの推進(高齢者向け健康アプリ)	健康アプリ開発・テスト		健康倶楽部会員向け試験運用									
障がい者スポーツ事業(スポーツクラブ)の構築、支援学校の運動支援)	関係団体との調整・試行実施											
③人材、団体との連携の推進(3事業以上)												
ユニバーサルカレッジ(県市・事業所等)	講義・クラブ活動等実施、実行委員会・連携協議会開催、フォーラム開催、来期受講生募集											
健康倶楽部(神戸大、在宅医療財団等)	本格実施(臨床研究機関へのデータ提供、神戸大コグニケア、福祉まちづくり研究所等との連携)											
大学連携(市内の大学)	協定締結	子育て支援事業等について連携開始										
シルバーカレッジ(福祉人材育成・わと連携)	サポーター等資格取得(フレイル・認知症・市民救命士)							卒業予定者に対する「わ」への加入促進				
④組織人材の育成のためのキャリア制度の充実												
市役所部局での職場体験	市関係部局と調整	公募	実施	報告会								
職員研修	人材育成計画を中期経営計画に包含して作成							実施				

■ ミッションを踏まえた団体目標

目標及び実現方法	目標 (できるだけ達成度を表す 数値目標も記載)	神戸市しあわせの村リニューアル検討有識者会議の提言の実現 (23項目のうち12項目)
	・ 令和4年度に中期経営計画（令和5～7年度）策定に向けた新たにワーキングチームの立ち上げ	
	・ 当協会の意思決定会議である経営会議やしあわせの村共同事業体や村内施設で構成する「しあわせの村会議」にて議論	
	・ 外部団体との連携強化による更なる取組みの推進	
	・ 人事交流や職員研修等による人材育成	
・ 翌年度の事業計画策定、組織・体制の見直し		

■ 市支援策の活用状況

<input checked="" type="checkbox"/> 外郭団体共通内部通報窓口	<input type="checkbox"/> 経営懇談会	<input checked="" type="checkbox"/> 外郭団体職員向け研修	<input type="checkbox"/> 民間代替性調査
<input type="checkbox"/> 専門家紹介制度	<input type="checkbox"/> 経営診断	<input type="checkbox"/> 企業統治状況調査	

## ■ ミッションの達成状況（団体自己評価）

### （1）中長期的ミッションの達成状況

①市民福祉を振興するための事業を実施し、市民の福祉向上に寄与する。

- ・ YMCAと連携した子育て事業として「しあわせの村×YMCA森の学校」を実施。（31人参加）
- ・ 発達の気になる子の支援事業として、「のびのび運動ひろば」を実施。（60人参加）
- ・ 特別支援学校生の就労体験として、東京大学先端科学技術研究センターと連携し、超短時間インターンシップ事業をモデル実施。（1校 4人参加）

②様々な人材、団体、福祉資源を活用し、福祉の新たな価値を創造する。

しあわせの村内施設・事業者のスタッフ参加や、大学や関係団体との連携、しあわせの村の運動施設等を活用し、新たな障害者の生涯学習の機会としての「KOBE しあわせの村ユニバーサルカレッジ」、健康寿命延伸等を目的とした「健康倶楽部」、トヨタ自動車や神戸学院大学と連携し車いす使用者などが外出先で使える「移動型バリアフリートイレの実証実験」、特別支援学校の中高生へ運動機会を提供する「ふれあいスポーツチャレンジ事業」等ミッションに沿った事業を実施した。

③市民福祉を推進するための人材を育成・確保する

固有職員・嘱託職員をメンバーとする次期中期経営計画策定に向けた新規事業提案のワーキングチームにおいて、外部講師の助言指導により、ヒアリング調査やプレゼン資料作成、実際のプレゼン実施などを体験した。職員の福祉理解促進のため視覚障害と発達障害をテーマに当事者や支援者を講師に招き実施した。

### （2）短期的ミッションの達成状況

①協会事業の実施と事業の効率化・廃止を含む見直し

- ・ 中期経営計画の策定

次期中期経営計画に向けてワーキングチームによる新規事業提案を実施。中期経営計画については、新型コロナウイルス感染症の影響による利用減などによる法人の財政状況の悪化から、令和5年度を含む収支改善の取組みを反映させるため、令和5年9月策定へ延期した。

②新たな福祉課題への取り組み

- ・ しあわせの村ラボ

しあわせの村のたんぽぽの家に神戸市がサテライトスペースを設置。市と協会で締結した覚書に基づき指定管理者として運営を行った。東京大学先端科学研究センターや岡山大学が利用。（年3件）

- ・ 障がい者・高齢者の村内での移動支援の構築

兵庫県まちづくり研究所と連携し、しあわせの村内にQRコード看板をモデル的に設置し、目的地へ移動を支援する実証実験や、トヨタ自動車や神戸学院大学と連携し車いす使用者などが外出先で使える移動型バリアフリートイレの実証実験を行った。

- ・ 村の活性化・DXの推進（高齢者向け健康アプリ）

健康倶楽部事業において、スマートフォンで登録した会員が体組成、骨密度などの測定結果を記録・閲覧できる高齢者向け健康アプリの開発を検討した。

・障がい者スポーツ事業（スポーツクラブの構築、支援学校の運動支援）

スポーツ庁「障害者スポーツ提供体制整備事業」の受託により「ふれあいスポーツチャレンジ」事業として、神戸市教育委員会や神戸大学医学部保健学科と連携し、特別支援学校の中高生の運動機会の提供として「中高生パラスポーツクラブ」（参加者7校、66人）、障害のある小学3～6年生を対象とした「水中運動ひろば」（参加親子39組）、発達的气になる小学1～2年生と保護者を対象とした「のびのび運動ひろば」（参加親子60組）を実施。

③人材、団体との連携の推進

・KOBE しあわせの村ユニバーサルカレッジ

学校卒業後の障がい者の生涯学習の機会として、幅広い分野の講義の受講、クラブ活動や世代間交流行事を通じて、主体性をはぐくみ、仲間づくりを実現することを目的に実施。（障害者42人参加）兵庫県、神戸市、障害者雇用事業所、学識経験者、しあわせの村内事業者、NPO法人等と連携し実施した。

・健康倶楽部

コロナ禍における高齢者の出控えに対する介護・認知症予防対策として、登録会員を対象に、学識経験者やNPO法人等の協力を得てセミナーを実施した（3回、99人参加）。また神戸大学と連携し「コグニケア」の体験会を経てコグニケアしあわせの村クラスを実施した。（参加者延493人）

・大学連携

4年度に神戸大学医学部保健学研究科、親和女子大学と連携協定を締結し、ふれあいスポーツチャレンジ事業等で連携し実施した。また、すでに連携協定を締結していた神戸学院大学とはモバイルトイレの実証実験、東京大学先端科学研究センターとは市内特別支援学校在校生の就労体験の場としての超短時間インターンシップについて連携して取り組んだ。

・シルバーカレッジ（福祉人材育成・わへの加入促進）

福祉人材育成として学生に「認知症サポーター養成講座」やフレイル予防の講座を実施した。NPO法人グループわへの加入案内窓口の設置に協力し、卒業生の社会貢献活動への参加促進を図った。

④組織人材の育成のためのキャリア制度の充実

・市役所部局での職場体験

市役所部局での職場体験の実現に向けて相談を実施した。

・職員研修

固有職員・嘱託職員をメンバーとする次期中期経営計画策定に向けた新規事業提案のワーキングチームにおいて、外部講師を迎えグループワークや助言指導を受けて、ヒアリング調査やプレゼン資料の作成、実際のプレゼン実施などを研修として位置づけ実施した。また、職員の福祉理解促進のため視覚障害と発達障害をテーマに当事者や支援者を講師に招き実施した。

（3）市政への貢献・市民への還元状況

令和4年度も、法人設立目的である市民福祉の振興・推進のための事業を実施し、神戸市しあわせの村リニューアル検討有識者会議の提言23項目のうち、13項目実施した。

・特に、職場体験実習、農業体験、超短時間インターンシップを通じた障がい者の就労支援では、しあわせの村会議を通じてしあわせの村内施設や事業者の協力を得て実施した。

・KOBE しあわせの村ユニバーサルカレッジでは外部団体と連携し、生涯学習としての学びの場を提供した。

・また、神戸市教育委員会と連携して運動機会の少ない特別支援学校の中高生を対象にしあわせの村の資源を活用し運動機会を提供した。

・農業体験では、しあわせ農園において障がい者の就労支援の側面のほか、高齢者やひきこもりの方も受け入れ社会参加の機会を提供した。

## ■外郭団体マネジメント推進本部の評価

### (1) 総合的意見

しあわせの村内の施設・事業者をはじめ、さまざまな企業や大学等と連携しながら市民福祉の向上に向けた取り組みを着実に実施しており、市への貢献又は市民への還元を果たしている。今後、法人の財政状況の改善も考慮しながら、市民福祉を振興するための事業の実施、人材の育成・確保に取り組むこと。

### (2) 数値目標の状況

評価項目	評価・指導
中長期的ミッション	一部未達成であった特別支援学校生の就労体験を目的とした超短時間インターンシップ事業もモデル実施できている。
短期的ミッション	中期経営計画を令和4年度に策定できなかったが、法人の財政状況の改善を踏まえて令和5年度に策定できている。
団体目標	神戸市しあわせの村リニューアル検討有識者会議の提言の実現に向けて着実に取り組んでいる。
市への貢献・市民への還元状況	しあわせの村内の施設・事業者さまざまな企業や大学等と連携しながら子育て支援や障害者支援に取り組んでいる。

### (3) 今後の方向性

団体の存廃も含めた検討を要する団体

継続的な見直しを要する団体

取り組みが着実に実施され成果が上がっている団体